



今回のタイトル

臨時国会召集

愛知13区：安城・刈谷・碧南・知立・高浜

衆議院議員

# おおにし健介



## 1. 臨時国会の焦点

10月24日、臨時国会が召集となりました。会期は12月10日までです。私たちは、猛暑、地震、豪雨、台風と度重なる災害に対応するため早期の補正予算編成が必要と訴えてきました。

そして、国会閉会中、政府は来年10月の消費税率10%への引き上げを閣議決定しました。また、私が担当する厚生労働の分野では、厚生労働省が目黒区での児童虐待死事件で専門家委員会の最終報告書をまとめ公表したほか、障害者雇用率水増し問題に関し第三者検証委員会が検証結果をまとめるとともに政府の対応方針が決まりました。さらに、外交分野では、南北及び米朝を巡る動きや日米二国間の新たな貿易交渉TAGの開始が決まりました。

このように内外に課題が山積しているにもかかわらず、今まで臨時国会が開かれなかったのは与党の怠慢と言わざるを得ません。

臨時国会では、「在庫一掃」と揶揄される改造後の閣僚の資質も厳しく追及しなければなりません。私は、個別の政策課題のなかでは、日米物品貿易協定（TAG）と外国人労働者受け入れのために入国管理等改正案に注目したいと思います。

この2つに共通するのは、非常に重要な問題であるにもかかわらず、レトリックでごまかし、正面から議論することを避けようとしていることです。

TAGという言葉は、日本政府が使っているだけで、米側はFTAと言っています。これまで政府は、日米安保と絡めて譲歩を迫られかねない二国間のFTA交渉には否定的な姿勢を貫いてきました。方針転換するのであれば実質FTAであることを素直に認めた上で正面から議論すべきです。茂木大臣の言うように「自動車で攻め農業で守る」ことができるのか目が離せません。

新たな在留資格の創設も、政府は「移民政策ではない」と説明していますが、更新すれば期限なく事実上「永住」が可能で家族の帯同も認められる制度は移民政策そのものです。技術移転を建前としていた技能実習制度から事実上の移民政策に大きな政策転換を図るのであればごまかさずにそれを国民に対して説明すべきだと思います。

国民民主党は「正直な政治」を掲げる政党です。国民を欺くのではなく正直に真正面から我が国の直面する課題に向き合い建設的な議論を行ってきたいと思います。

私は厚生労働委員会の理事として、党のプロジェクトチームの副座長としてこの問題に関わっていますが、外国人労働者受け入れはわが国の社会を大きく変える可能性のある重要テーマです。

自動車産業の盛んな西三河地域では、既に、多くの日系人や技能実習制生



裏に続く

の外国人が働いている現実があります。少子高齢化の急速な進展による人手不足は深刻であり、単純に「移民反対」というのは無責任だと思います。

一方で、法案では対象となる分野も受け入れる外国人の数も明らかにされておらず、これでは議論のしようがありません。

例えば、リーマンショックの時には、多くの日系ブラジル人が職を失い、国が税金を使い帰国支援事業を行いました。新たな在留資格で働く外国人は生活保護の支給対象にはなりません。不況により職もなく、セーフティネットもない外国人が大量に発生した場合に政府はどう対応するつもりなのでしょうか。慎重な議論が求められます。

移民をテーマにしたドイツの映画の中にこんなセリフがあるそうです。「労働力を呼んだら、来たのは人間であつた」。外国人労働者は単なる「労働力」ではなく、生身の人間であることを忘れてはならないと思います。

## 2. 国民運動局長として

私は、党務では国民運動局長を拝命しました。国会召集日には、有楽町で玉木代表の街頭演説を行いました、その司会進行も私の仕事です。

国会閉会中には、現職議員が手分けして、党所属国会議員不在県を訪問する活動を企画しました。

また、先日は、国民運動局主催で、パナソニックでブランド統一を手がけ、ユニクロを展開するファーストリテイリング社で広報総括責任者を務める古川啓滋氏を講師に迎えて党勢拡大に向けた党内勉強会を開催しました。

さらに、妊婦が罹ると赤ちゃんに深刻な障害が出る恐れのある風疹が大流行していることを受けて、広く予防接種を呼びかけるために、党において議員、秘書、職員を対象とした予防接種の実施を決めました。

国民運動局長として今後も党の認知度を高め、党勢を拡大するために様々な活動を展開してまいります。



# わたくし、おおにし健介は 三ツ星議員に選ばれました!

3年連続!



## 「三ツ星議員」とは?

議会ごとに国会での議員による質問時間、質問回数、議員立法発議者数、質問主意書提出数といった議会活動のデータをまとめ、それぞれのカテゴリーごとの上位者に星をつけ、三ツ星で評価しています。

10月25日、国会質問、議員立法、質問主意書といった国会での活動を評価する「国会議員三ツ星評価」の表彰が行われ、田原総一郎さんから「三ツ星」の盾を頂きました。

700名あまりいる国会議員の中で、三ツ星は衆議院では15名、参議院では1名だけです。今回、私は3年連続の受賞となります。



### Profile



- ▶ 昭和46年4月13日生まれ ▶ 京都大学 法学部卒業 ▶ 党務では、青年局長、選対委員長を歴任し、現在、国民民主党国民運動局長
- ▶ 国会職員、在アメリカ大使館二等書記官、衆議院議員馬淵澄夫政策担当秘書を経て、平成21年第45回衆議院議員総選挙で初当選 ▶ 国会では、厚生労働委員会理事、消費者特別委員会に所属
- ▶ 「地盤・看板・靴」なしで挑んだ平成21年総選挙で初当選以来、連続4期当選 ▶ 小学生と幼稚園児の2人の男子の子のパパ。ニックネームは「オニケン」